

〇-A r mと共に進化する脊椎固定手術

〇-A r m（オーアーム）は、X線を用いた透視画像とC Tのような断層画像を手術中に撮影できる装置です。当院に〇-A r mが導入されてから半年が経ち、45件の脊椎固定手術（腰椎39件、頸椎6件）を行いました。

〇-A r mはアルファベットの「O」の形をしており、その輪の中に手術台が入ります。「O」の内部をX線管球と検出器（フラットパネルディテクター）が360°回転しながら撮影を行うことが出来るので、C T画像のような横断面を撮影することが可能になりました。

これまでは、外科用イメージで正面からと側面からの透視像で手術を行ってききましたが、〇-A r mによって手術中に横断面の撮影が可能になったので、固定に使用するスクリューの位置が3次元的に把握できるようになりました。特にスクリューの進入点を決めるのが困難だった側弯型の脊椎狭窄症の患者さんの手術が一段と安全かつ正確に行えるようになりました。

また、当院には手術室にC Tが無く、術後の検査は閉創後に1階のC T室で行っていましたが、〇-A r mが設置されたことにより、閉創前に手術室で術後の検査を行えるようになりました。おかげで手術終了から回復室への入室時間が短縮され、術後管理やご家族の面会も早くできるようになりました。

